

私たちの 「アメリカ見聞録」

Our new friends & memories in America

Village of Menomonee Falls



①メノモニーフォールズ小学校で交流、②アイリッシュダンスを体験、③アメリカのスーパーマーケットを見学、④メノモニーフォールズ中学校前のスクールバス、⑤メノモニーフォールズ高校で西条祭りを紹介、⑥小学校で文化交流（剣道）

3月21日から30日、西条市の高校生がアメリカウィスコンシン州メノモニーフォールズ村を訪問しました。

言葉はもちろん、物の考え方・習慣・食事・人権問題など、日本とは随分違う様子に戸惑ったり悩んだりしたことも多くあったようですが、現地でのホームステイ・学校訪問・さまざまな文化交流イベントを通じて多くの人と出会い、コミュニケーションの大切さや面白さを、身をもって知ることができました。生徒全員が自分の力を信じることができ、将来の選択肢も広がったのではないかと思います。

またアメリカでの滞在中には、多くの人にお世話になりました。研修後に、生徒たちは「自分が親切にされた分、人にも親切を返したい」と感じたようです。

他国の文化を学ぶことは同時に、日本文化を再確認する絶好の機会でもあります。みなさんも積極的に国際交流イベントに参加し、自国の誇りと他国への思いやりを持って、外国の方に日本の素晴らしさをたくさん教えてあげてください。コミュニケーションにおいて大切なのは言葉ではなく、心と心が通い合うことです。世界中の人と友達になりましょう！

(国際交流員：アイリーン・リン)

メノモニーフォールズでの 成長記

スタディツアーに参加した高校生の感想を紹介します。参加した高校生の皆さんは、それぞれ将来の夢や勉強に対するやる気が芽生えたようです。

丹原高校3年 伊藤早紀さん

(丹原町願連寺)

一番楽しみだった高校生との交流では、日本とは全く違う授業を体験できたり、同年代での物の見方や考え方の違いを感じられたりと、良い刺激をたくさん受けることができました。これらは、一番良い経験になったと思います。また学校交流のおかげで、たくさんのアメリカの学生と友達になれました。現在でもメールなどで交流を深めています。今すぐにでもみんなと会いたいです。

今度は、ぜひみんなに歴史ある西条に来てもらい、今よりも深い交流関係を築きたいです。

西条高校2年 佐伯郁恵さん

(小松町明穂)

朝起きると必ず、ホストマザーがハグをしてくれて、ホストファザーは毎朝私に紅茶を入れてくれました。

スクールバスや学校のカフェテリアで、友達とおしゃべりをするのも、とても楽しかったです。アメリカの学校は日本の学校と全く違っていて本当にいい体験ができました。

そしてこのスタディツアーのおかげで、私はもっと勉強したいと思うようになりました。これから一生懸命勉強して、大学生になったら、絶対にまたメノモニーフォールズの人たちに会いに行きたいです。

西条高校3年 久米健斗さん

(三津屋南)

僕は高校を卒業した後、アメリカに行ってもっと英語を学んで、向こうの大学に行きたいと思っています。アメリカで自分の可能性にチャレンジしたいという思いから、留学をするという、はっきりした進路が決められつつあります。

僕がこういうふうに関心できたのも、このスタディツアーのおかげです。アメリカに行って、実際に向こうの文化や生活などを体験できたことは、僕にとって大きな糧になりました。